

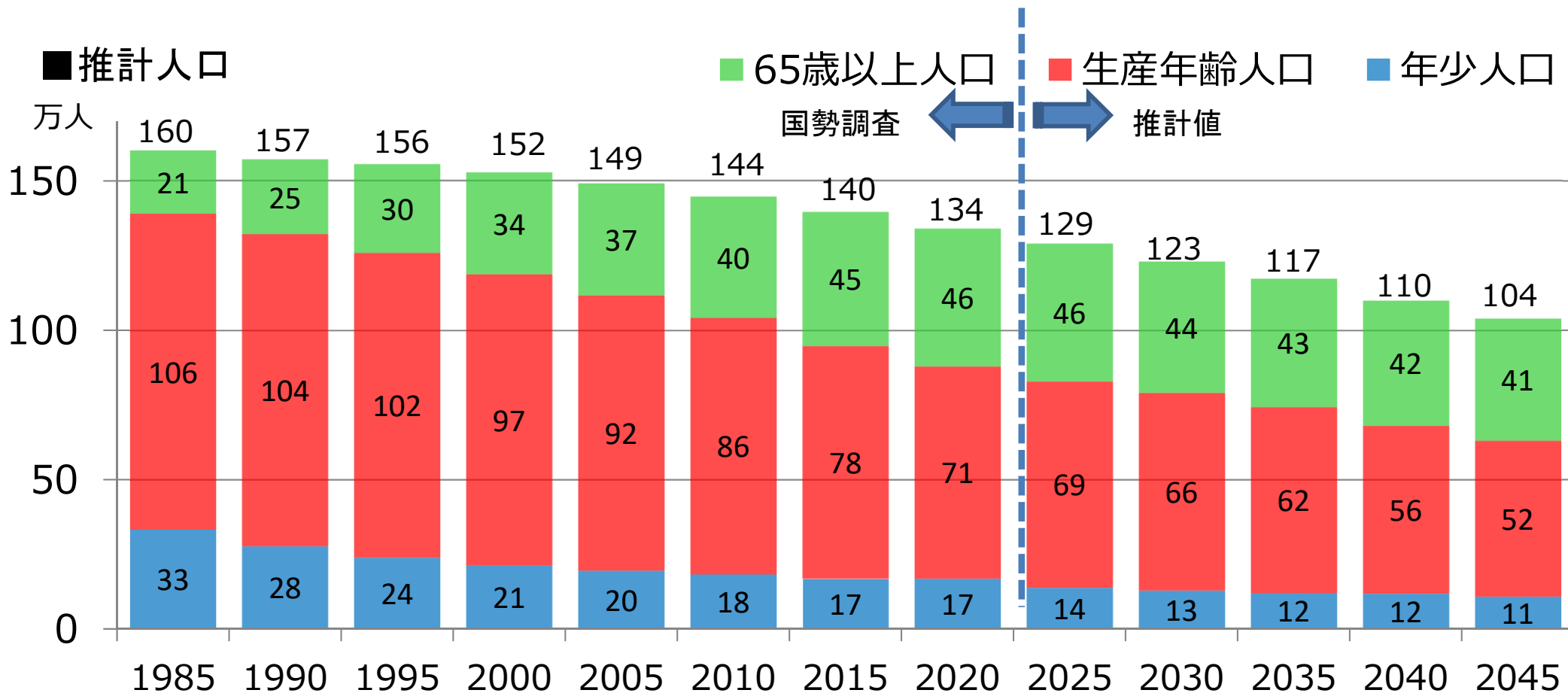
山口県 多様な人材の新規就業促進

～官民連携プラットフォームとデジタル技術の活用～

令和5年8月29日

山口県産業労働部 労働政策課

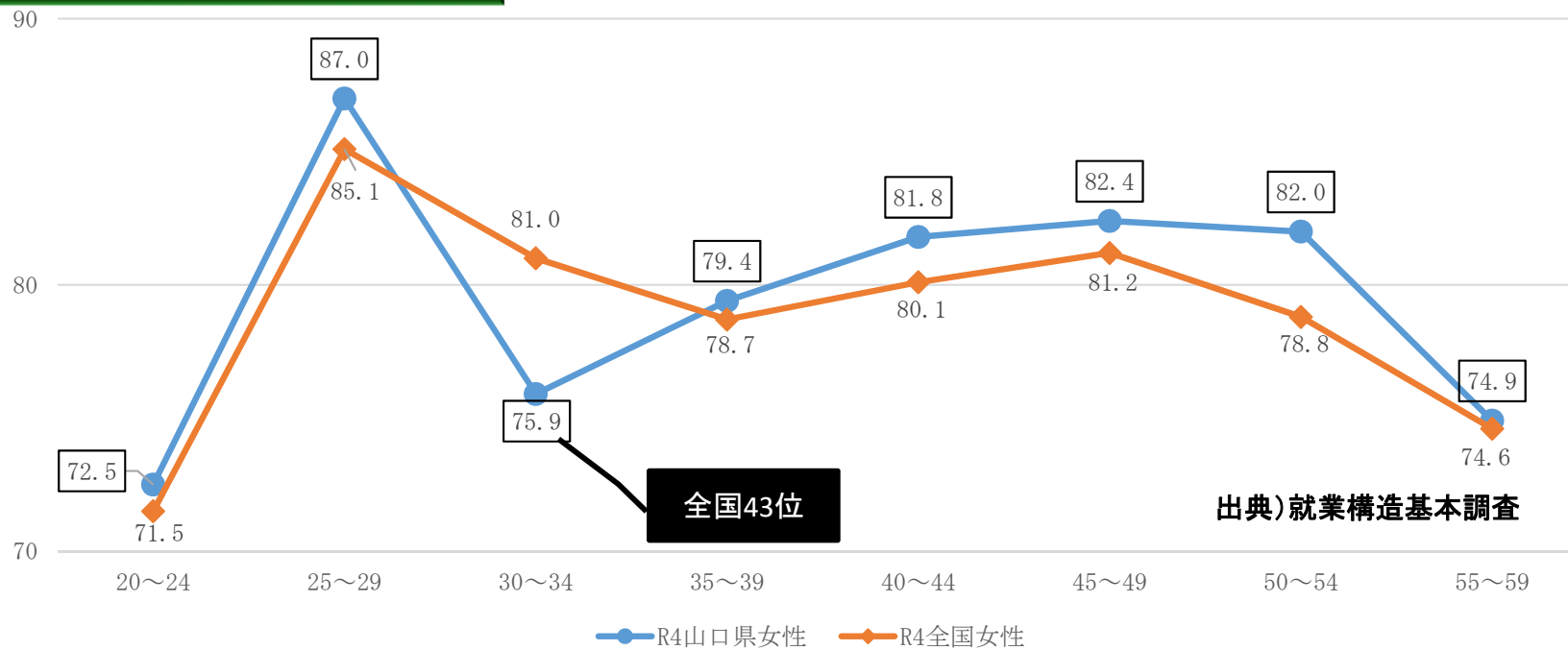
山口県の現状（人口減少）



山口県の現状（本県の特徴）

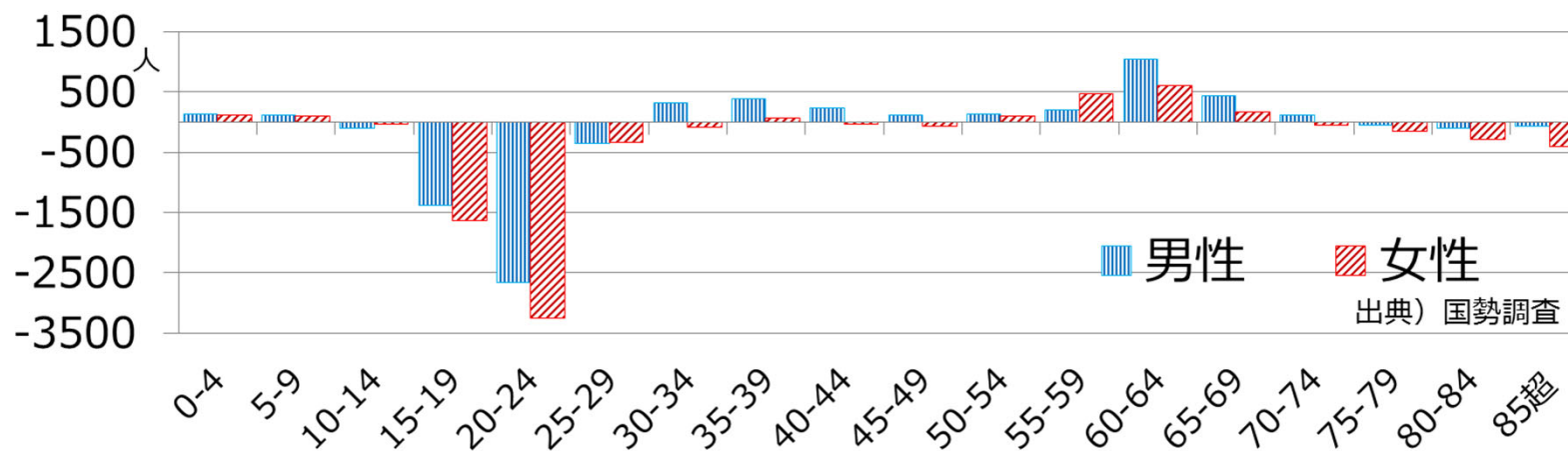
女性の有業率

※ 子育て期の女性の有業率が特に低い



若者の県外流出

※ 男女とも若年（高卒時・大卒時）の流出が大



山口県の雇用・労働支援体制

山口しごとセンター

- 平成16年4月 「山口県若者就職支援センター」として開設
- 職業相談、職業紹介、企業見学ツアー、就職フェア等を実施
- 厚生労働省の「新卒応援ハローワーク」を併設
- 平成30年8月から「シニア・女性就職支援コーナー」を開設し、

名称を「山口しごとセンター」に改称

やまぐち働き方改革支援センター

- 平成28年9月～ 県独自の働き方改革支援機関として設置（交付金事業）
- アドバイザーとして、社会保険労務士等の専門家を配置
- 要請に応じて企業を訪問して助言・提案を行う「アウトリーチ支援」を実施
- 働きやすい職場環境づくり全般について助言・提案
（モデル事例や優良企業の実例に基づく職場環境づくり、仕組みや制度づくり）
- 「山口しごとセンター」に併設し、人材確保支援と一体的に支援を実施



人材確保に向けた課題

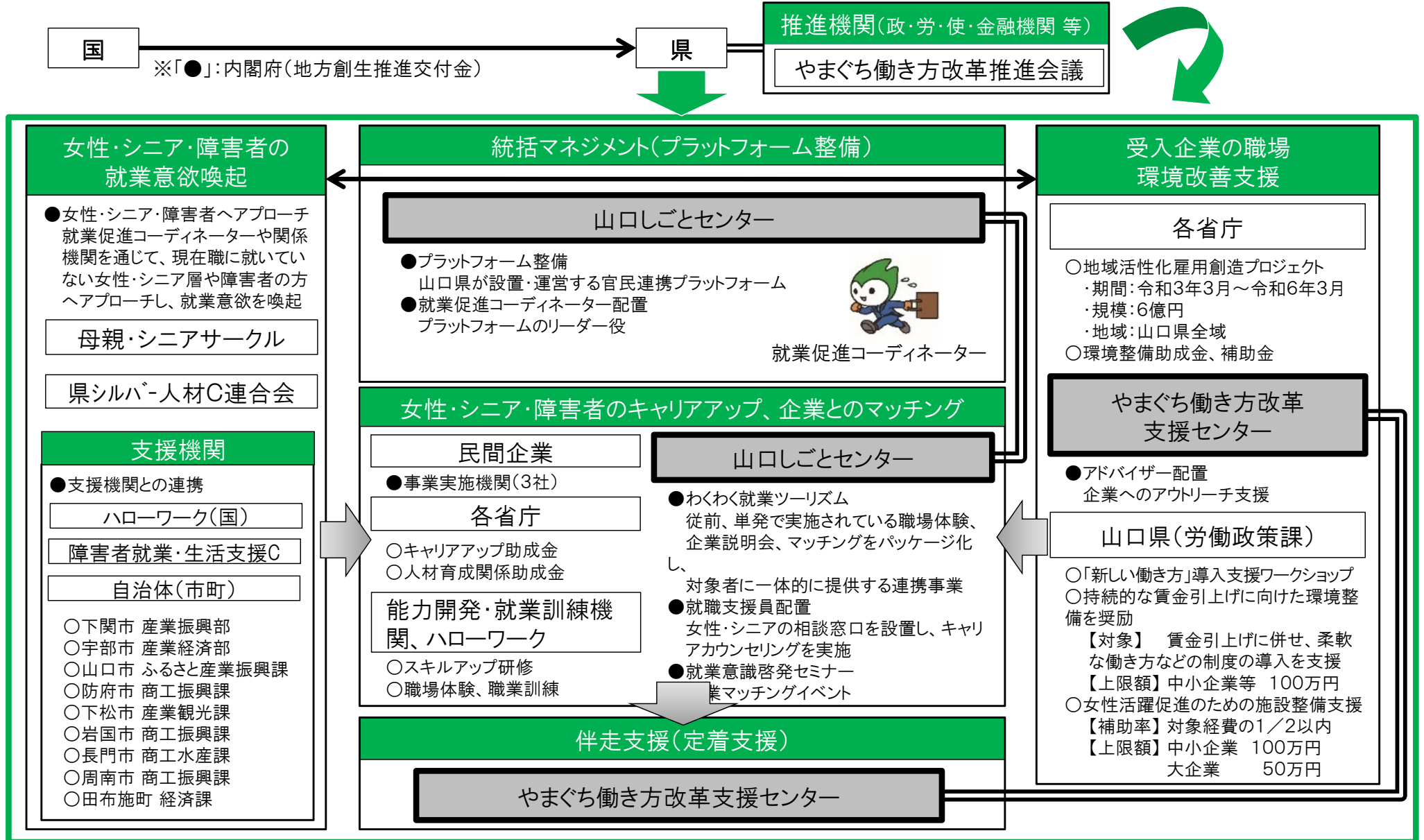
- 窓口への来訪を待つのではなく、未就業者に積極的にアプローチして就業意欲を喚起
- 国、県、市、民間の連携を強化し、セミナーや研修、マッチング支援等の情報を未就業者に確実に提供

**新規就業等支援事業
の積極活用**

やまぐち多様な人材新規就業促進事業

山口県の若い世代を中心とする大都市圏への人口流出や少子高齢化の進行に伴う労働力人口の減少、さらに、本県のものづくりを中心とする産業界の深刻な人手不足の状況の中、「山口しごとセンター」を中心に、現在職に就いていない女性・シニア・障害者を支援対象者として就業意欲を喚起するとともに、支援対象者が働きやすい企業の職場環境づくりを促進することにより、女性・シニア・障害者の就業促進と産業人材の確保を図る。

※山口しごとセンター：就職活動に役立つ相談、情報提供、職業紹介等の支援をワンストップで実施する山口県設置の施設



官民連携プラットフォームについて

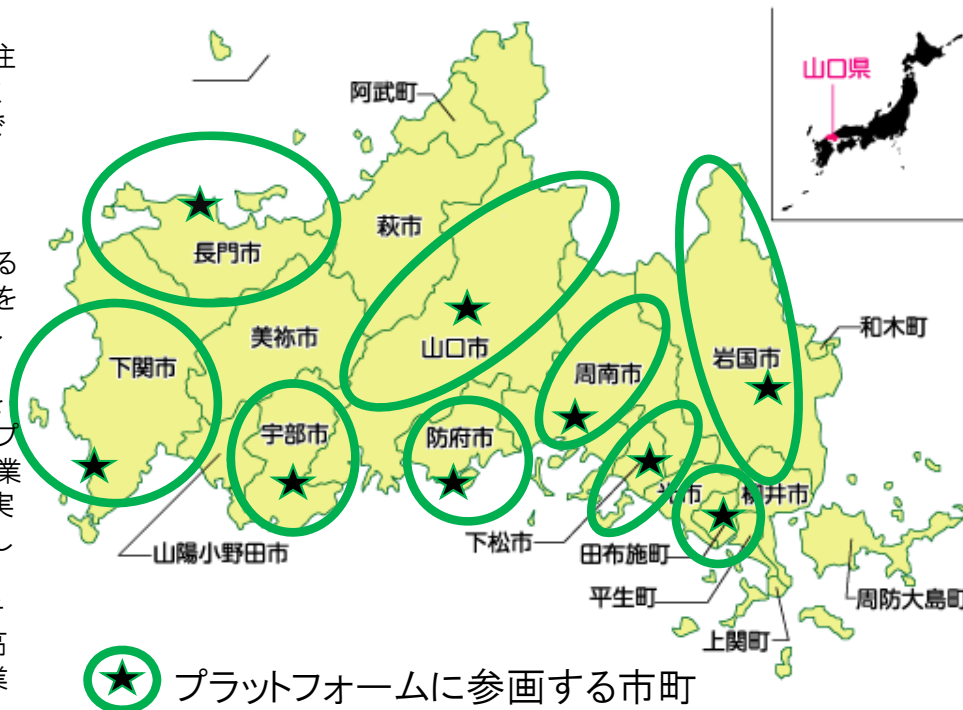


山口県では、山口しごとセンターを中心に「やまぐち新規就業促進プラットフォーム」を整備し、県内全域を対象に事業を構築している。また、地域の住民や中小企業等に身近な立場にある県内市町とは、これまでの連携した取組(県セミナー等)の成果を活かし、2019年度に地域間連携に取り組んできたところであり、2020年度以降は、8市1町を中心に、全市町を対象に一層の連携強化を図る。



2020年度以降は、女性やシニアのニーズと求人企業のミスマッチを解消する先進的な取組を実施している民間企業のノウハウを活用し、本事業の実績を高める。具体的には、「追加パッケージ①」として、フルタイム勤務を前提とした従来型の求人では、子育て女性等の人材確保が困難であることから、未就業女性の働き方ニーズと求人条件のミスマッチを解消する先進的取組を実施している民間企業のノウハウを活用して、新たな就業支援事業「ステップアップ就業促進事業」を構築する。あわせて「追加パッケージ②」として、就業に向けたシニアのニーズと求人条件のミスマッチを解消する先進的取組を実施している民間企業のノウハウや、地元金融機関が持つネットワークを活用して、新たな就業支援事業「アクティブシニア就業応援事業」を構築する。

さらに、2021年度以降は、障害者のニーズを踏まえ、企業との雇用マッチングの取組を実施している民間企業のノウハウを活用し、本事業の実績を高める。具体的には、「追加パッケージ③」として、未就業の障害者と求人企業の雇用マッチングの取組を進めるための企業内職場リーダー育成講座、就職説明会、マッチング支援を実施する。



山口県人口 1,300,654人 (男618,543人 女682,111人)

やまぐち新規就業促進プラットフォーム



■ 山口県
山口しごとセンター



市町がプラットフォームに参画し、本事業の県内全域での拡大を図る。



■ 下関市(モデル市町)
創業支援カフェKARAST.



■ 長門市(モデル市町)
長門市しごとセンターT.e.g.o.



■ 宇部市(モデル市町)
宇部市JOBSTA

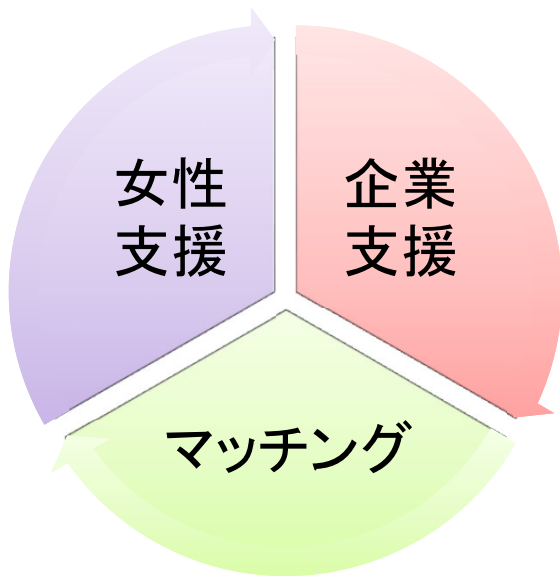


■ 周南市(モデル市町)
周南市立徳山駅前図書館

山口県 ステップアップ就業促進事業



女性の力を掘り起こし、
学びと伴走支援により、
再就職へ向けステップ
アップを図る。



63人66社参加
40人就業(R4)

マッチングイベント参加企業
に対し、マイクロワークでの
雇用や、ステップアップがで
きる雇用を創出し、企業全体
の生産性の向上や、ワーク
ライフバランスの実現に向け
た働き方改革を支援



ママドラフト会議®とは？
“女性人財と企業が出会うミートアップイベント”です。
実際に会うことで、女性・企業双方のニーズがマッチする雇用条件が生まれ、その歩み寄りがある
雇用につながる可能性があります。女性人財の活用と企業の新たな戦力確保として注目され、東京や福岡など
で開催されています。

どのような女性が参加する？
山口県全域の女性を対象とした、山口県ステップアップ女性就業促進事業「Re:Stepプログラム」に
よるブラッシュアップ講座を受講した女性たちが参加します。

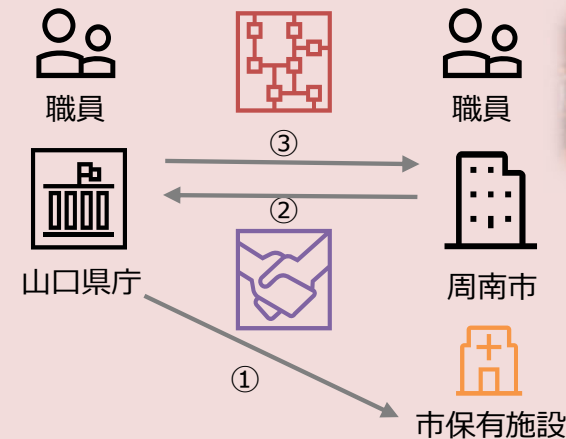
Re:Stepプログラム詳細はこちら → <https://restep.qpsaito.org/> リスタート 山口

社求人経験やキャリア・資格をもたない女性も、働きたいという気持ちがあれば応募もかまいません。結婚・出産・育児・介護
で転職し、プランクや転職難の悩み、能力を社会で発揮できていない女性たちです。



市町との連携について

- ① 市保有施設を活用した県事業の実施
- ② 県と市とが個別に実施する事業を連結し、一連のイベントとして開催
- ③ 官民連携プラットフォームでの情報共有を契機とする、県と市の職員同士のネットワーク形成

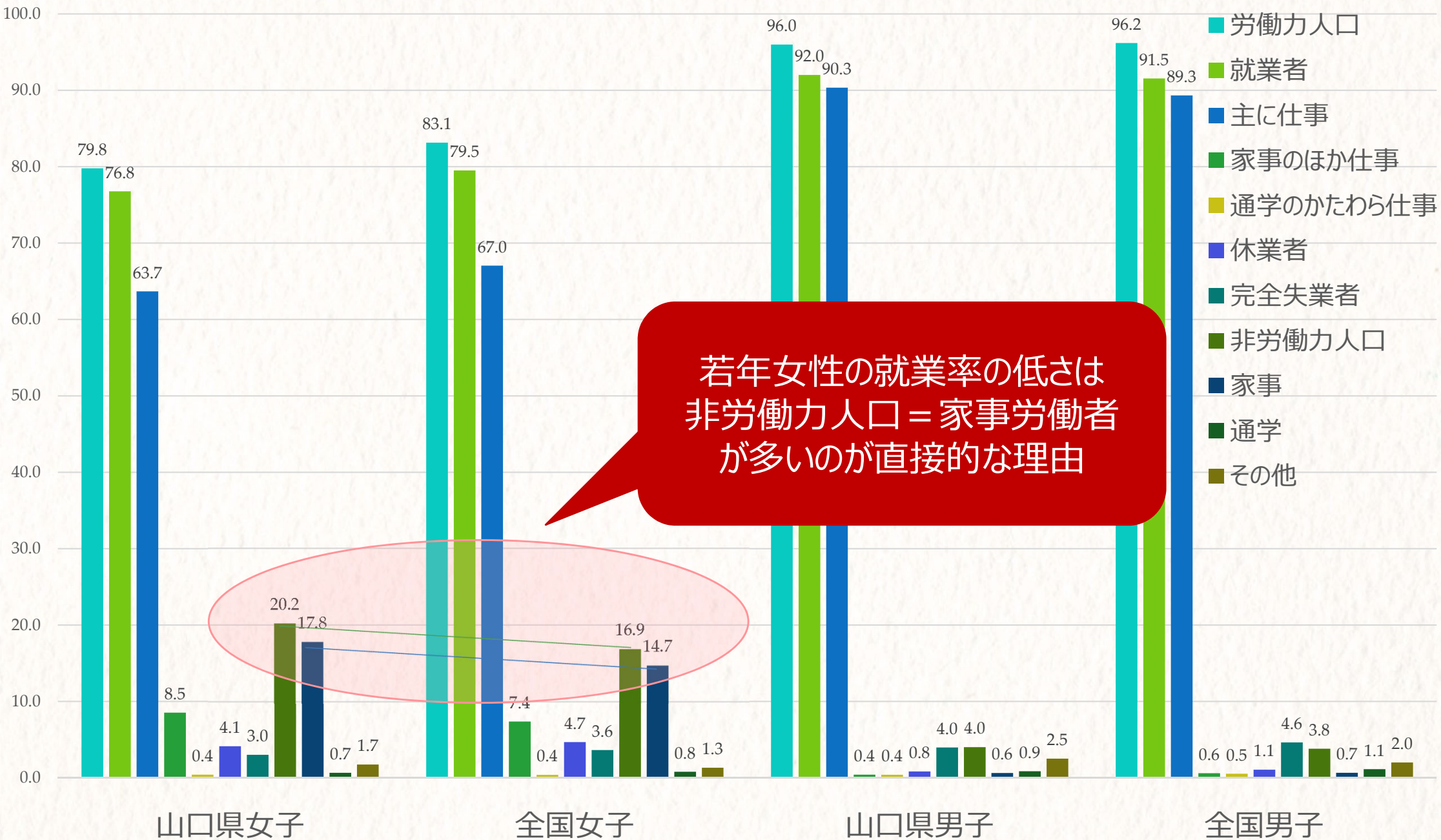


→ 協力関係を築き、円滑な事業実施へ

◆市町にとってのメリット

- ① 県事業と連携することで限られた市町予算を別事業に活用することができる。
- ② 連絡体制があることで他機関の取組を知ることができる。

若年層（25～34歳）の生活状況：2020年



若年女性の就業率の低さは
非労働力人口＝家事労働者
が多いのが直接的な理由

では、なぜ、若年女性に家事労働専従者が多いのか？

大学進学者が少ない

結婚が早い

出産が早い

山口県民
+ (男女とも)
の意識

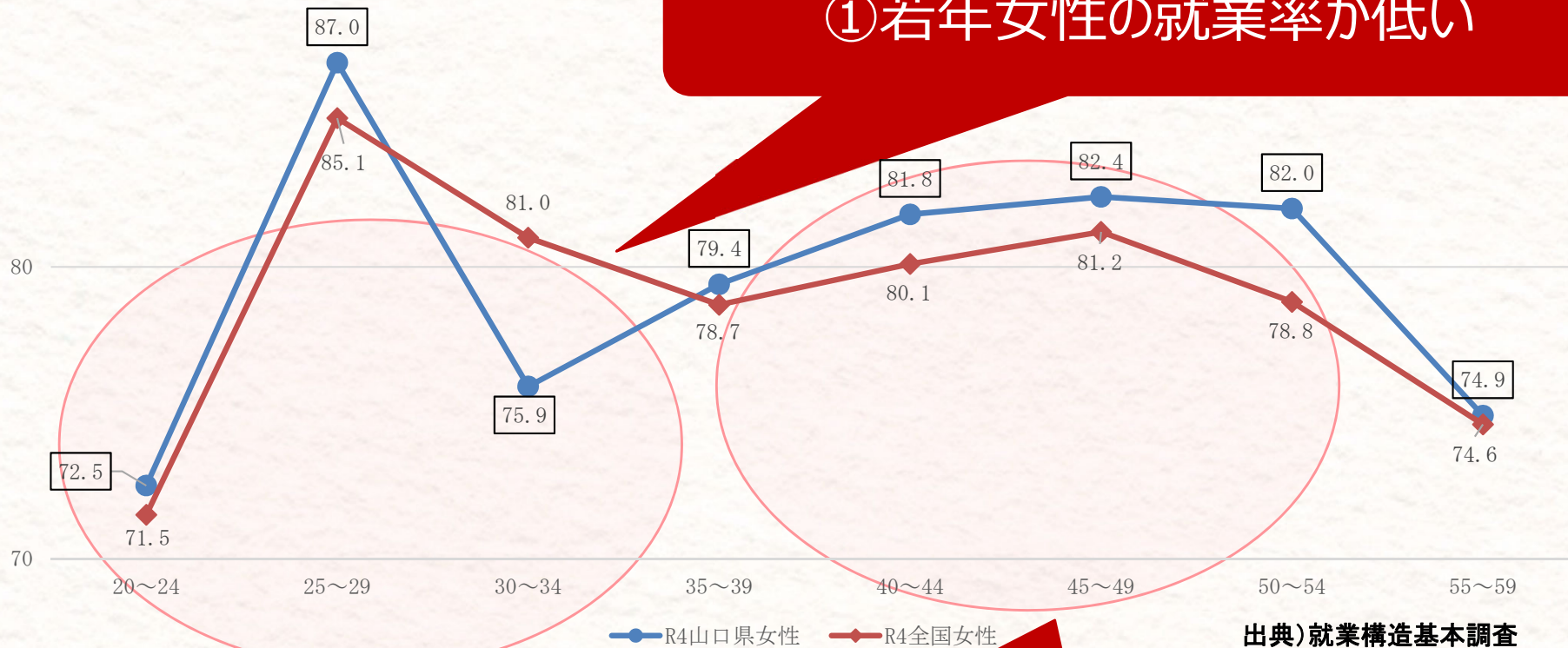
+ 山口県民(男女とも)の意識

山口県民(男女とも)は、性別役割分業、特に「**母親による育児**を重視」する傾向が強い

*「妻には、子どもができてからもずっと職業を持って欲しい」と思う**男性**の割合：
全国ワースト1位 (2016年)

*「子どもが小さいうちは母親は外で働かない方がいい」と思う**女性**の割合：
全国2位 (2016年)

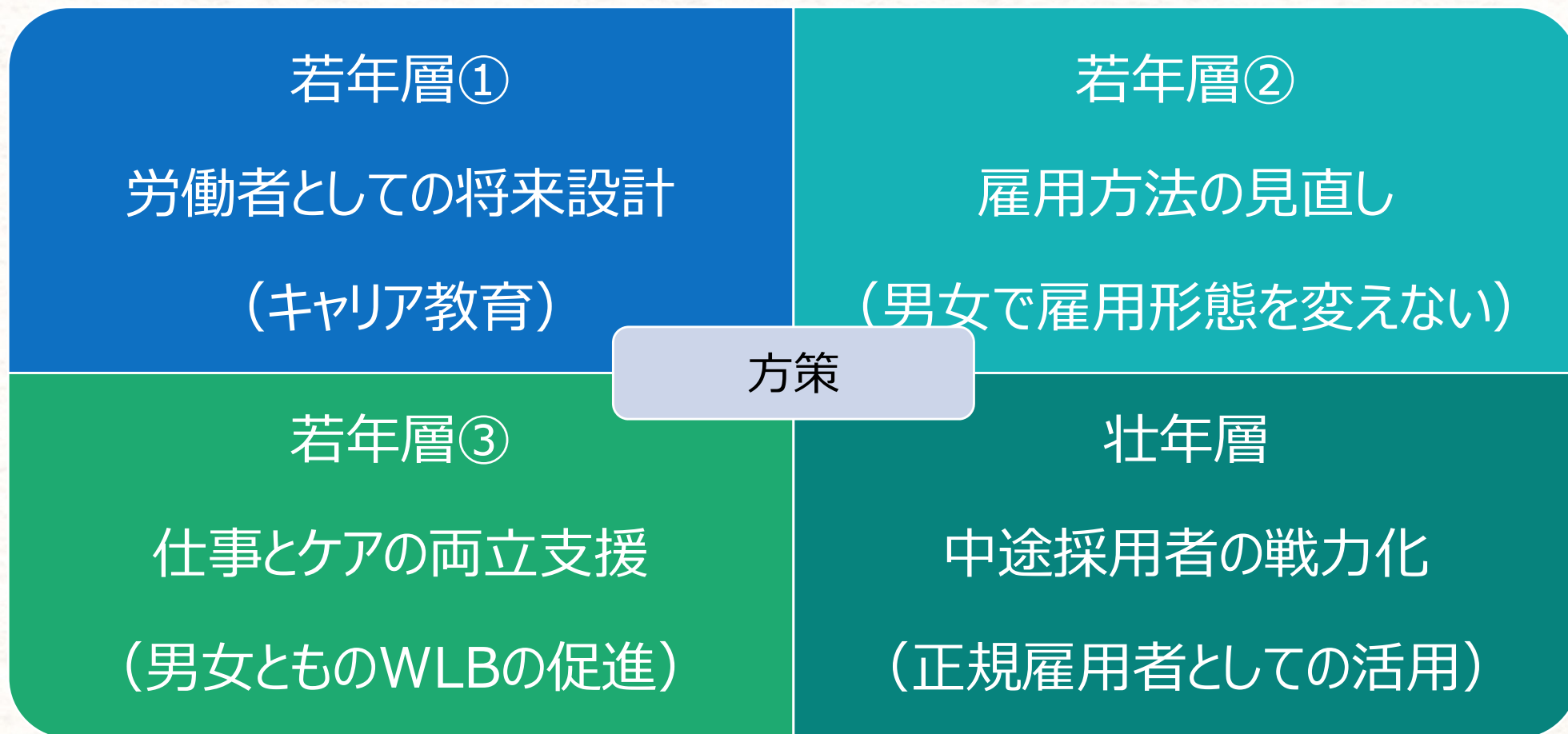
山口県の女性労働の特徴



①若年女性の就業率が低い

②壮年女性の就業率が高い

山口県における2方向からの女性雇用者の活躍促進方法



女性デジタル人材育成事業

事業概要

未就業等の女性に対し、プログラマー養成講座やインターンシップ等を実施し、企業と連携して女性の就業や待遇改善を一体的に支援

○ コンソーシアムの設置

- ・ デジタルキャリアセンターでの講座内容等の検討
- ・ インターンシップ・就業先として連携

○ デジタルキャリアセンターを設置

- ・ デジタルスキル習得講座の実施
- ・ インターンシップの調整

○ 女性の希望に応じた就業を支援

- ・ デジタル田園都市国家構想交付金
- ・ 地域就職氷河期世代支援加速化交付金を活用

